

活動名	キャンドルファイヤー (館内活動)			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 炎を囲み、心静かに自分自身を見つめ、行動をふり返る。 ○ ダンス、スタンツなどの創意工夫の中で、仲間との連帯感や友情を深める。 ○ 楽しい活動を通して、明日へのよりよい生活への意欲を育てる。 			
条件	場所 研修スペース 時間 40分～1時間半 (人数に応じて変更有) 時期 通年	対象 小学校高学年以上 人数 10～200人 (キャンドルサービスは人数制限有り) 天候 雨天時可		
提出物	書類 用具貸出票	経費 なし		
準備物	貸出 <input type="checkbox"/> CDラジカセ <input type="checkbox"/> マイク <input type="checkbox"/> ランタン <input type="checkbox"/> ブルーシート <input type="checkbox"/> 燭台(大) <input type="checkbox"/> 手持ち燭台 <input type="checkbox"/> 燭台(大)用ろうそく	団体準備 <input type="checkbox"/> 手持ち用ろうそく(1.5号) <input type="checkbox"/> マスク (個人準備) <input type="checkbox"/> チャッカマン <input type="checkbox"/> 衣装 <input type="checkbox"/> CD <input type="checkbox"/> スタンツ関係		
展開	事前 準備 (学校で) <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいと当日の流れ(3部構成)を設定する。 ・役割(火の神、火の巫女、火の守、司会など)を分担する。必要に応じて練習を行う。 準備 (本番45分前) <ul style="list-style-type: none"> ・研修スペースにブルーシートを敷き、中央燭台をセットする。 ・中央燭台や手持ち燭台(児童生徒数+火の神、火の守用)にろうそくを付ける。 ・司会のリハーサル、音響操作、照明装置の確認 ・第1部の火の神入場から中央燭台点火までの流れを確認する。 ・第3部のキャンドルサービスで、自分の立ち位置を覚える。 ・衣装セッティング:火の神、火の巫女、火の守 引率者役割分担(例) <ul style="list-style-type: none"> ・司会進行補助(音響):1名 ・火の神:1名 ・入場補助:1名 ・消火安全管理:全員 (・照明担当:1名 ・撮影記録:1名 人数が少ない場合は兼務) 			
	活動 第1部 迎え火のつどい:セレモニアルファイヤー(10～20分) ①開会 ②火の神・巫女入場 ③火の神の言葉 ④火の守分火 ⑤誓いの言葉 ⑥点火 第2部 交歓のつどい:ボンファイヤー(15分～) ①レクリエーション(ダンス・スタンツなど) 第3部 送り火のつどい:メモリアルファイヤー(10～20分) ①キャンドルサービス ②閉会			
	事後 片付け <ul style="list-style-type: none"> ・使ったろうそくを燭台から外して、バケツに入れる。 ・ブルーシートに垂れているろうを削り取る。 ・床にろうを落とさないようにほうきで掃除し、ブルーシートを元通りにたたむ。 			
安全管理	<input type="checkbox"/> 火気取扱い <input type="checkbox"/> ろうそく取扱い	火の神・巫女入場 手持ち燭台	分火・点火 ブルーシート	キャンドルサービス
配慮事項	キャンドルサービスは、ブルーシートの上で行うので、実際の場所でも立ち位置の確認が必要である。十分な間隔がとれない場合は、分散して行うことも考えられる。大勢で火を扱う活動になるため、手持ち燭台の持ち方や立ち振る舞いなど安全面の指導を繰り返し徹底する必要がある。キャンドルサービスでの火の移し方は、火が着いた人は自分の場所から動かず、火の着いていない隣の人が動いて火をもらうように徹底する。			

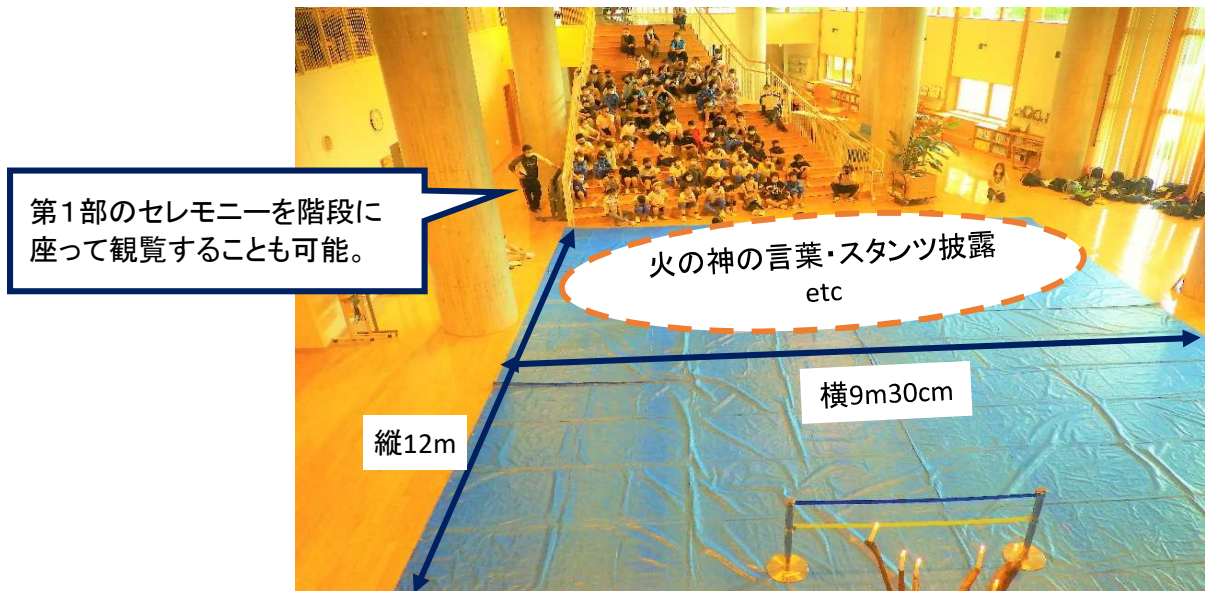
場のイメージ

準備 司会進行、音響操作は、放送設備がある掲揚旗下で行う。
照明は、階段下脇の操作盤で調節する。
ろうそくを人数分つけて手持ち燭台を準備する。

展開 事前 流れと安全面の配慮を確認する。

活動 第1部 迎え火のつどい(セレモニアルファイヤー)
・火の神入場: 宿泊室側階段 or 食堂側階段
・観覧場所: ブルーシートの上 or 大階段に整列(120人以上)
第2部 交歓のつどい(ボンファイヤー)
・スタッツ披露(大階段下) ・ダンス(※人数など要相談)
第3部 送り火のつどい(メモリアルファイヤー)
・キャンドルサービス(燭台を中心に2~3重円 ※要相談)

事後 使い終わったろうそくをバケツに入れる。
ブルーシートをきれいに掃除し、小さくたたんで片付ける。



参考資料



- 火の神々が宿泊室側の階段から入場する。BGM:「遠き山に日は落ちて♪」



- 火の神の話に耳をかたむける。



- 火の神が火の守に分火し、それぞれ誓いの言葉を述べる。



- 燭台に進む際は、引率者が付き添うか安全に誘導する。燭台のろうそくは、中央から点火する。



- BGM:「燃えろよ燃えろ♪」をみんなで歌い、火の神、火の守は退場する。



- 燭台を掲揚旗下に移動し、大階段前のスペースを広げてスタンプを行う。学年の団結力が試される。



- ダンスは、燭台から離れて広がり、十分な間隔を空けて安全に踊る。



- キャンドルサービスは、シートいっぱいになって前後の間隔を空けて行う。BGM:「今日の日はさようなら♪」など